

令和6年度当初予算案等の概要



～ みんなに選ばれ続ける地下鉄を目指して、次世代へつなぐ～

目次

I 令和6年度予算規模と輸送人員の推移

1. 令和6年度予算規模	1
2. 主な計数の比較	1
3. 1日あたりの輸送人員の推移（年度別）	1

II 主要事業

1. 安全・安心の確保	
(1) 土木構造物補修	2
(2) 駅内外装改修	2
(3) 1000N系車両更新	3
(4) リアルタイム監視機能付き防犯カメラの設置	3
(5) 車内・駅構内の巡回警備の強化	3
2. 快適で質の高いサービスの提供	
(1) 混雑緩和パッケージ	4
(2) 車両優先スペースの改修	5
(3) 地下駅の全館冷房化の推進	5
(4) 昇降機の増設	6
(5) みんながやさしい、みんなにやさしいサイン改良	6
3. まちづくりへの貢献	
(1) 博多駅筑紫口リニューアル	7
(2) 省エネ対策の推進（駅照明等のLED化）	7
(3) 再エネ由来電力の利用推進	7
4. 利用促進策の強化	
(1) 利用促進施策の充実	8
(2) タッチ決済乗車サービスの推進	8
5. 新技術の積極的な活用	
(1) 駅内防犯カメラのAI技術の活用（実証実験）	9
6. 営業施策の強化	
(1) 広告・駅ナカ事業の強化	9
(2) 「ふくおか応援寄付（ふるさと納税）」の活用	9

I 令和6年度予算規模と輸送人員の推移

1. 令和6年度予算規模

区分	R6当初予算	R5当初予算	差引
一般会計	64億6,333万円	60億 891万円	4億5,442万円
高速鉄道事業会計	804億8,634万円	595億1,153万円	209億7,481万円

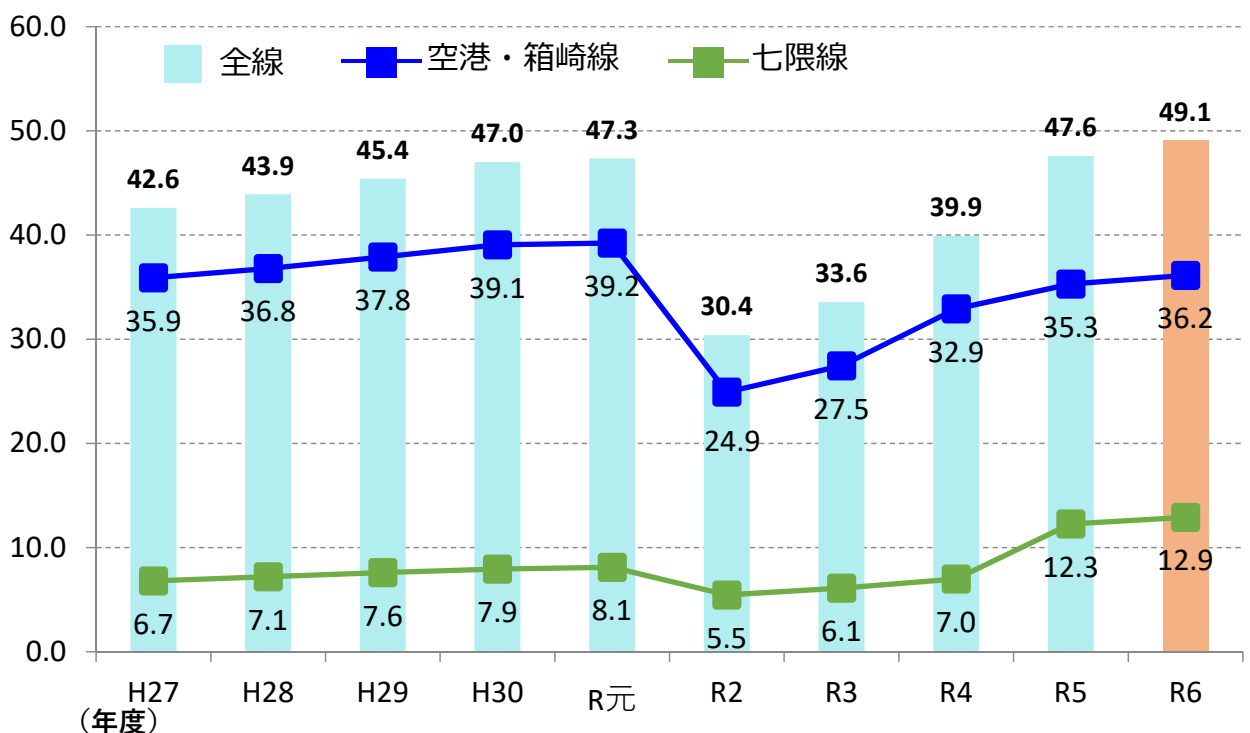
2. 主な計数の比較

区 分	R6当初予算	R5当初予算	差引
1日あたりの輸送人員	49万500人	40万9,200人	8万1,300人
乗車料収入	344億6,211万円	286億2,286万円	58億3,925万円
単年度損益	59億1,430万円	13億 83万円	46億1,347万円
累積損益※	△ 972億1,281万円	△ 1,075億9,015万円	103億7,734万円
年度末企業債残高※	1,993億9,492万円	2,094億1,622万円	△100億2,130万円

※累積損益と年度末企業債残高のR6年度当初予算欄は、R5年度補正予定額を含む。

3. 1日あたりの輸送人員の推移（年度別）

（単位：万人）



II 主要事業

1. 安全・安心の確保

(1) 土木構造物補修

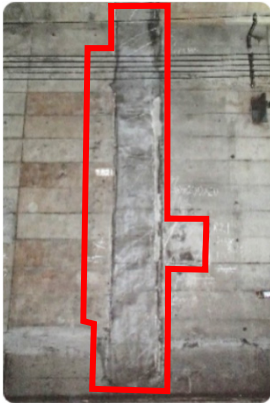
2億1,011万円

トンネルなどの土木構造物は、**昼夜間の点検**や**定期検査**により構造物の健全度を把握するとともに、計画的な補修工事を実施することにより、**列車の安全運行を図っています。**

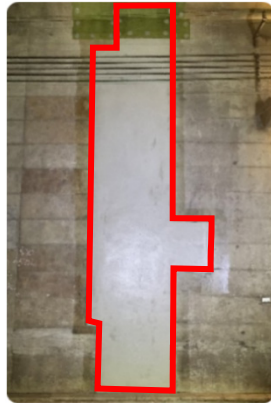


補修イメージ

(参考) 夜間工事 (分岐器更新工事)



補修前



補修後



(2) 駅内外装改修

2億1,152万円

空港・箱崎線については、開業から約40年経過し、駅の天井・壁・誘導ブロックなどの経年劣化が進んでいることから計画的に改修を実施しています。



改修イメージ



改修前



改修後

◆ 令和6年度の主な事業箇所

中洲川端駅・室見駅 (改修工事)

大濠公園駅 (実施設計)



(3) 1000N系車両更新

41億6,444万円

運用開始から約40年経過した**1000N系車両**について、令和6年度より**全18編成**を更新していきます。



◆ 4000系の特徴

- こども連れや車いすの方、大きい手荷物をお持ちの方が快適に利用できる**フリースペース**を設置！
- 新技術のモーターの導入で、**使用電力量を約20%削減！**
(営業列車としての本格導入は世界初！)



◆ 令和6年度の予定

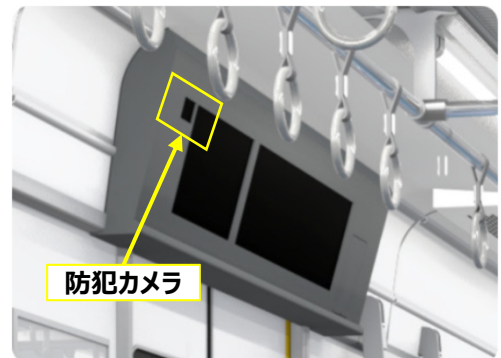
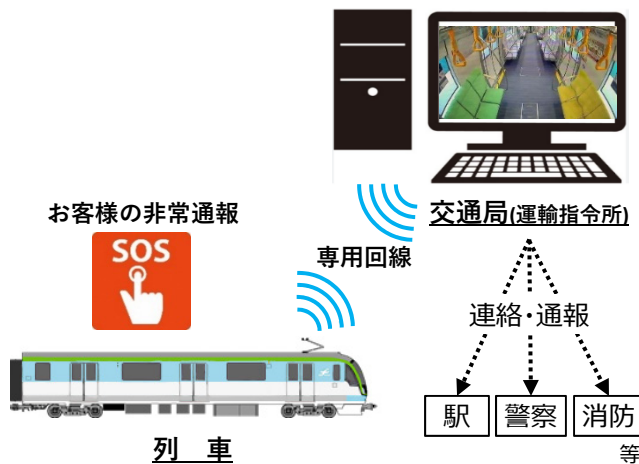
- 第1編成 車両基地搬入 令和6年4～5月
- 第1編成 運用開始 令和6年秋ごろ
- 以降、令和6年度中に第2・第3編成運用開始

(4) リアルタイム監視機能付き防犯カメラの設置

拡充

3,997万円

車内犯罪の未然防止等のため、**リアルタイム監視機能付き防犯カメラ**を全車両に計画的に設置していきます。令和9年度までに全車両導入予定です。



車内防犯カメラの設置イメージ (4000系)

(5) 車内・駅構内の巡回警備の強化

新規

1,445万円

車内・駅構内での犯罪の未然防止等のため、**警備員による巡回警備**を強化します。



◆ 巡回警備の概要

- **対象路線** 地下鉄全線
- **巡回場所** 車内及び駅構内



巡回警備イメージ



2. 快適で質の高いサービスの提供

(1) 混雑緩和パッケージ

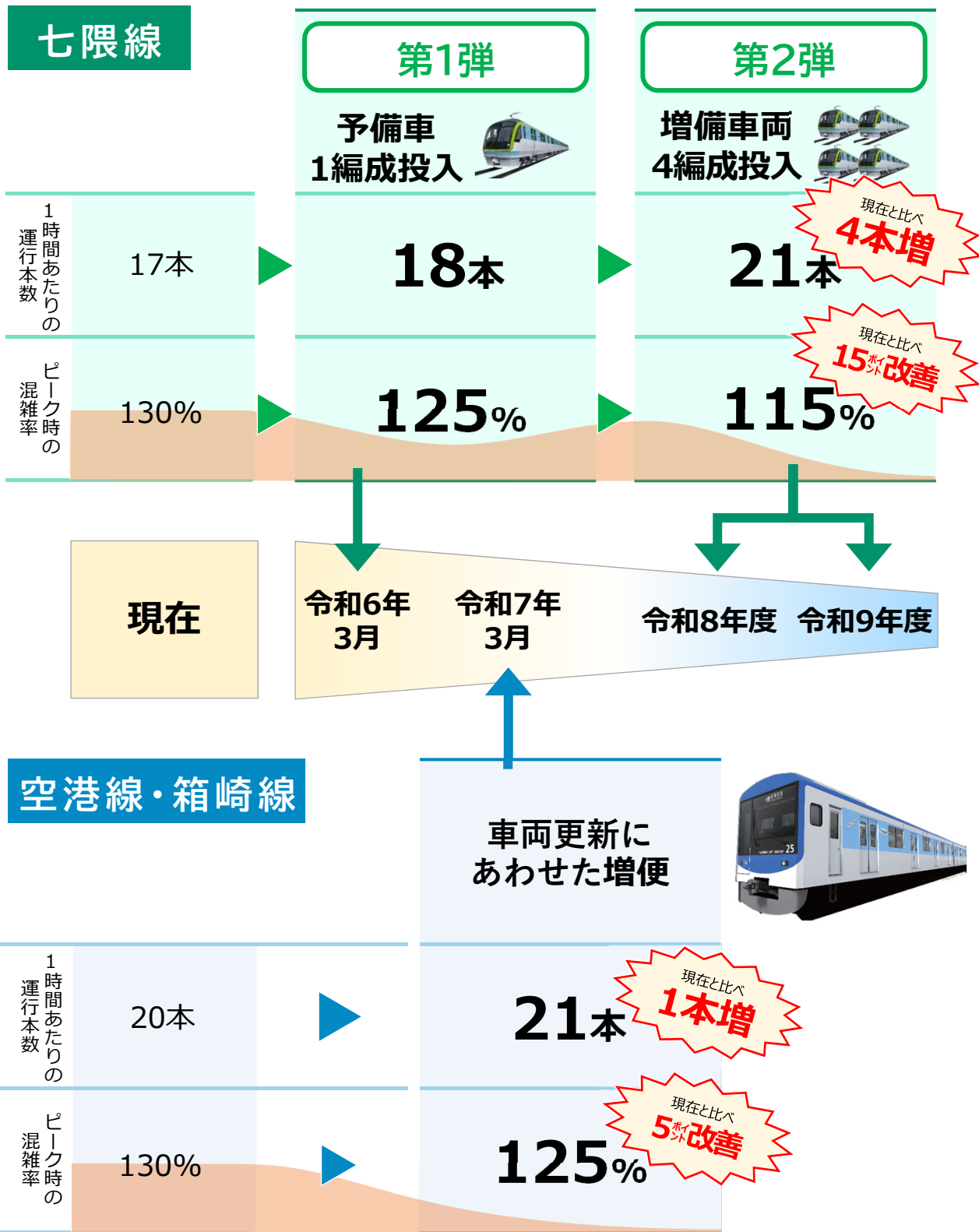
新規

(債務負担行為) 62億7,400万円



地下鉄利用者は、今後の福岡市の人口増に伴い、年々増加することが見込まれます。

現在、混雑は落ち着いている状況ですが、今後の利用者増に対応するため、混雑緩和に向けた対策を実施します。



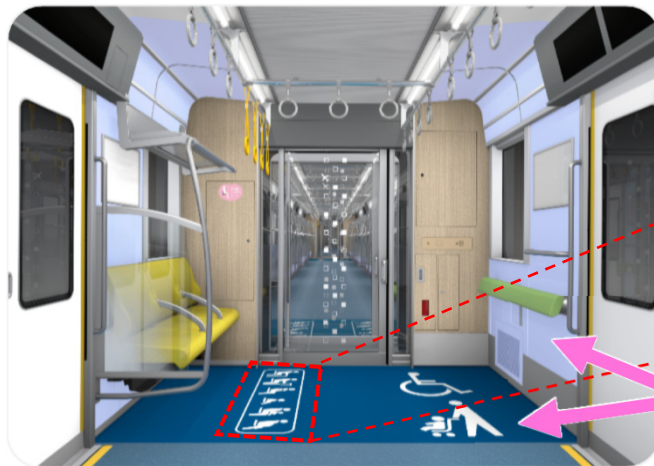
(2) 車両優先スペースの改修

新規

2億4,233万円

◆ こどもファスト・トラックの推進

- 優先席の対象に、「小さなお子さま」を追加
→ 小さなお子さまや子ども連れの方が優先席を利用しやすい環境をつくれます。
- 優先エリアを一般部と明確に区分
→ 優先席・優先スペースの壁および床の色を一般部と区別します。



小さなお子さまや子ども連れ



カラーでわかりやすく

車内優先スペースのイメージ

(3) 地下駅の全館冷房化の推進

新規

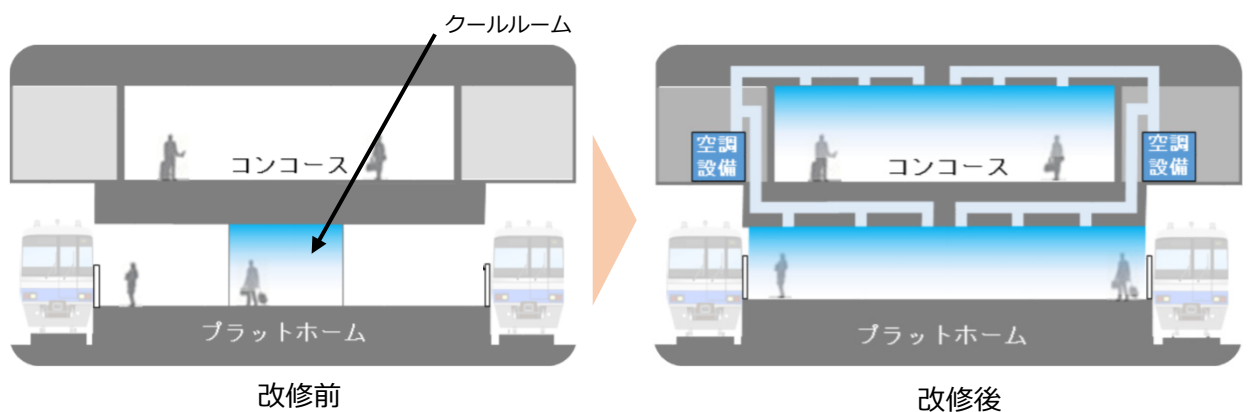
1,293万円

お客様に快適にご利用いただくため、近年の平均気温の上昇やお客様からの声を踏まえ、**地下駅の全館冷房化**を推進します。



◆ 令和6年度の事業箇所

赤坂駅・六本松駅（全館冷房設置に向けた実施設計）
※地下駅全34駅中、天神駅・博多駅など9駅は設置済み



地下駅の全館冷房化イメージ



(4) 昇降機の増設

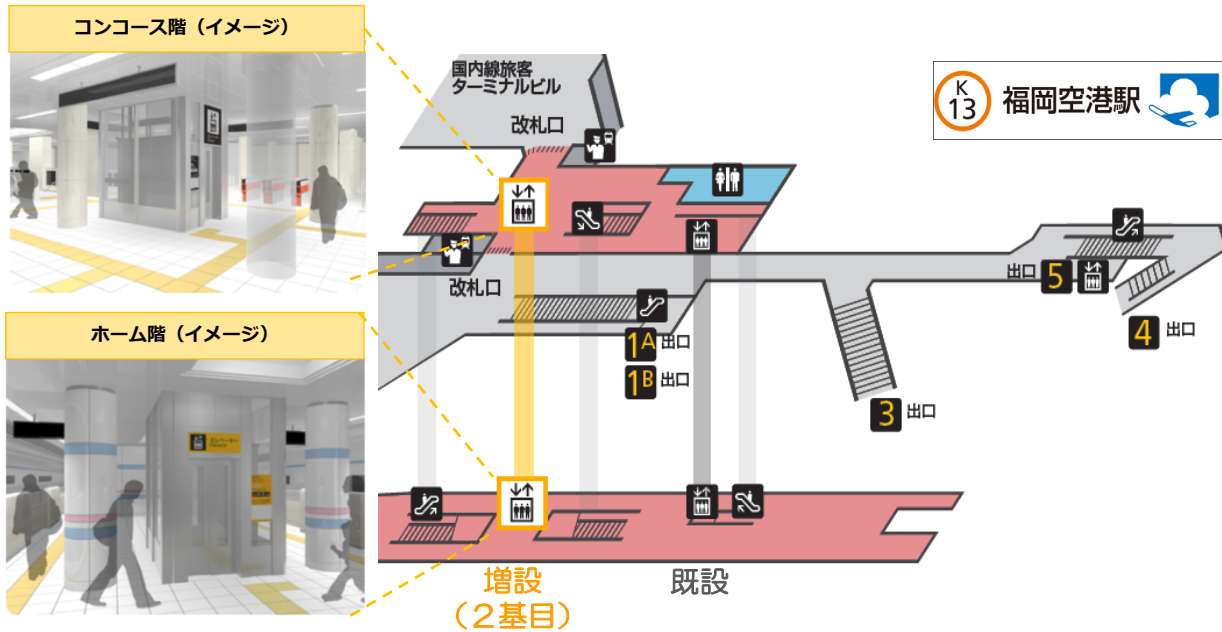
拡充

1,556万円

◆ 福岡空港駅エレベーター増設

駅バリアフリールート of 充実及び観光客などの移動円滑化の推進を図るため、福岡空港駅のエレベーター増設に向けた設計を実施します。

※工事は令和7～8年度を予定



(5) みんながやさしい、 みんなにやさしいサイン改良

拡充

4,644万円

車いすやベビーカーなどバリアフリールートが必要とされるお客様、認知症の方など、誰もが安心して快適にご利用いただける「みんながやさしい、みんなにやさしい」駅を目指し、案内サインの改良を実施します。



- ◆ エレベーター優先利用案内サインを設置 (令和6年度～ 順次設置)
- ◆ 「認知症の人にもやさしいデザイン」をトイレ案内サインへ導入



エレベーター優先利用案内サイン (イメージ)



認知症の人にもやさしいデザイン トイレ案内サイン (イメージ)



3. まちづくりへの貢献

(1) 博多駅筑紫口リニューアル

2,537万円

コンコースの利便性向上、賑わい創出のため博多駅筑紫口の
リニューアルを進めています。



駅ナカ店舗 新区画整備

- ・新区画整備工事 令和6年度下期
- ・店舗事業者公募 12月

博多織デザイン壁面装飾

博多駅を訪れる方に、博多の伝統・文化を感じていただくため、筑紫口改札付近の壁面等に、献上柄（博多織）のデザイン装飾を実施します。



(2) 省エネ対策の推進（駅照明等のLED化）

7,489万円

環境対策の取組みとして駅照明等のLED化を推進します。



Fマーク灯のLED化

七隈線の櫛田神社前駅、博多駅を除く16駅で実施。
（上記2駅は開業当時からLED化済）

**令和6年度中に
全線・全駅で完了予定**



電照広告のLED化

令和6年度は、室見駅、藤崎駅、西新駅、東比恵駅で実施。

今後段階的に
実施予定



(3) 再エネ由来電力の利用推進

拡充 8億2,918万円

脱炭素化を推進するため、令和6年度は地下鉄の年間使用電力量の
40% に再生可能エネルギー由来電力を導入します。



地下鉄用電力への再エネ由来電力の導入割合



4. 利用促進策の強化

(1) 利用促進施策の充実

新規

拡充

1,270万円

◆ 沿線周遊コース「ちか旅」の拡充

地下鉄の利便性と沿線スポットの魅力を併せた沿線周遊コース「ちか旅」の発信内容を拡充し、SNSや情報雑誌等によるプロモーションを強化します。



◆ 企画乗車券の提供

お客様ニーズへの対応や利便性向上のため、新たな企画乗車券を検討するとともに、令和5年度に発売した「小学生100円パス」等、既存の企画乗車券の販売を促進します。

(2) タッチ決済乗車サービスの推進

拡充

8,108万円

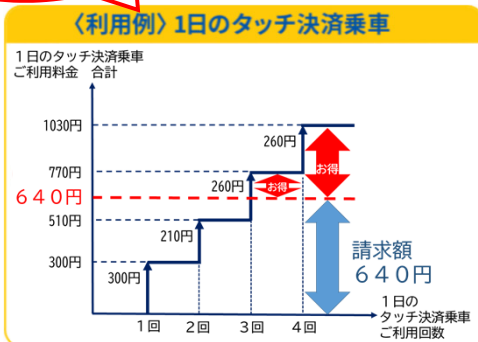
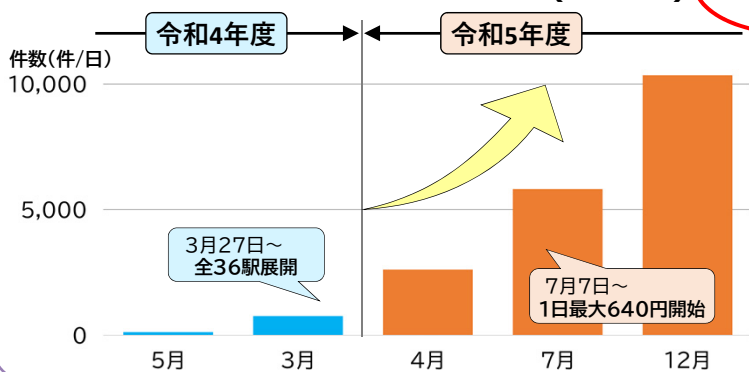
◆ 本格導入

全36駅で展開中のタッチ決済実証実験のサービスについて、4月1日から本格導入します。



鉄道事業者での
1日最大料金は
日本初!!

タッチ決済乗車サービス 月別利用実績(1日平均)



新サービス続々導入予定!

◆ 1か月最大料金サービスを導入

→毎月1日から末日までの1か月間、どれだけ乗っても最大で12,570円となるサービスを導入します。

◆ 障がい者割引へのタッチ決済の適用を開始

→駅窓口で障がい者手帳をお見せいただくと、タッチ決済で障がい者割引を適用します。



5. 新技術の積極的な活用

(1) 駅内防犯カメラのAI技術の活用(実証実験)

新規 1,300万円

駅内での犯罪の未然防止や転倒したお客様の早期発見など、お客様の安全・安心を確保するため、AI技術の活用を試験的に取り組みます。



犯罪行為や不審な行動、お客様の転倒などの検知精度や駅係員の対応について検証を行います

※個人情報の取扱いについては関係法令等を遵守し、顔識別など個人を特定する情報は取扱いません



6. 営業施策の強化

(1) 広告・駅ナカ事業の強化

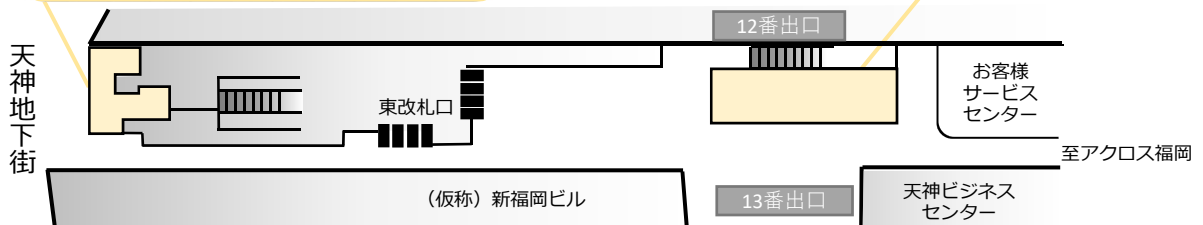
拡充

◆ 天神ビッグバンに合わせた新たな憩いの場を提供

天神駅東口に新たな利便施設がオープンします！

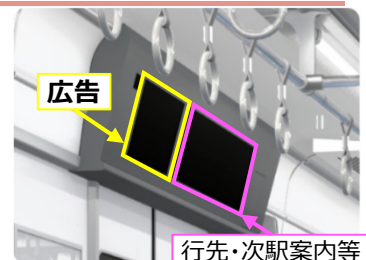


◆ ビジネスセンター前区画
令和6年秋店舗工事着工予定



◆ 新たな車内広告媒体を導入

4000系車両に広告用デジタルサイネージを設置します。



※イメージ

行先・次駅案内等

(2) 「ふくおか応援寄付（ふるさと納税）」の活用

新規

ふるさと納税の**体験型返礼品**として、新たに**車両基地の見学ツアー**を追加します。

◆ 見学ツアー例

- ・姪浜車両基地への入庫列車乗車・運転シミュレーター体験
- ・運転台見学+車両撮影会
- ※営業運転前の4000系車両が撮影可能 ほか

